

## 特集展示室

### 2階歴史文化展示ゾーン内

ヨーロッパや中国の影響を受けた絵画資料、貴重な歴史資料など当館収蔵の資料を中心に、様々なテーマの展示を行います。

※展示替え等のため閉室場合があります。



## 長崎奉行所ゾーン

江戸時代の図面などをもとに長崎奉行所立山役所を復元したゾーン。長崎奉行所関連資料や長崎奉行所旧蔵のキリシタン関連資料(国指定重要文化財)を展示しています。

※展示替え等のため閉室場合があります。



## 観覧料(常設展)

※2021年 4月現在

大人 630円[500円] 小中高生 310円[250円]

◎[ ]内は15名以上の団体料金です。◎企画展は別料金です。◎長崎県内在住の小中学生は無料です。◎学校行事の一環として、県内の小・中・高・特別支援学校が利用する場合は引率の教員を含め無料です。◎障がい者手帳(身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳)保持者及び介護者1名は無料です。◎認定を受けた観光客ボランティアの観光客を伴う入館は無料です。◎その他ホームページ等にてご確認ください。

□開館時間 年末年始は営業時間が変更になります。

◎展示ゾーン・ショップ 4月～11月 8:30～19:00 (最終入館30分前)  
12月～3月 8:30～18:00

◎伝統工芸体験工房・貸工房 10:00～17:00

◎レストラン「銀嶺」 10:30～21:00(オーダーストップ19:00)

◎資料閲覧室 9:30～18:00

□休館日 毎月第3日曜日(祝日の場合は翌日)

※その他メンテナンスのため休館する場合がございます。

## 長崎れきぶん友の会

博物館を身近にご利用いただける「友の会」では、地域の皆様にご満足いただけるよう様々な特典を設けております。

個人会員 5,200円

特典 ●常設展無料 ●当館主催企画展無料 ●ショップレストランの割引など

賛助会員 52,000円(一口)

特典 ●同伴1名まで常設展・当館主催企画展無料 ●当館主催企画展チケット(一口50枚)を差呈など

※コロナウイルス感染症の影響により予定が変更になる場合がございます。詳細はホームページでご確認いただくかお問い合わせ下さい。



## アクセス・駐車場台数

- 路面電車:「桜町」電停下車、徒歩5分「市民会館」電停下車、徒歩7分
- 路線バス:路線バス「桜町公園前」下車、徒歩3分。 県営バス(風頭町～夢彩都線)「歴史文化博物館」下車
- 長崎自動車道(長崎芒塚IC)より諏訪神社方面へ10分
- 駐車場:一般車両:62台、大型観光バス:5台



〒850-0007 長崎市立山1-1-1  
電話095-818-8366 FAX095-818-8407  
ホームページ <http://www.nmhc.jp/>

## 町屋カレンダー

### 町屋 2階歴史文化展示ゾーン内

江戸時代の長崎の商家を復元した町屋では、長崎の絵師・川原慶賀が描いた年中行事絵を参考に、七夕、お盆、くんち、正月など、季節の行事に合わせた飾りや郷土料理の再現展示を行っています。



町家外観



くんち料理



桃の節句

3月 桃の節句  
2/16※～4/18日

4月

5月 端午の節句  
4/20※～6/20日

6月

7月 七夕  
6/22※～7/19日

8月

9月 お盆  
7/21※～8/30日

10月

11月 中秋の名月  
9/1※～9/20日・祝

12月 くんち  
9/22※～10/17日

2022年

1月 冬至  
10/19※～12/26日

2月

3月 正月  
12/28※～1/16日

4月

5月 節分  
1/18※～2/20日

6月

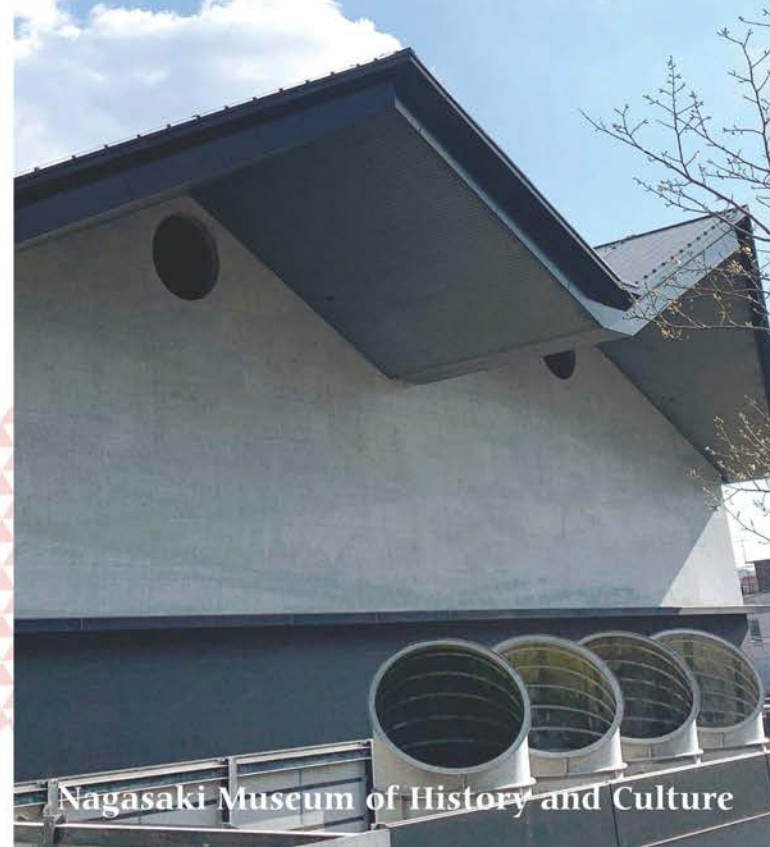
7月 桃の節句  
2/22※～4/17日

# 2021

# 年間スケジュール 2021.4→2022.3 ANNUAL SCHEDULE



長崎歴史文化博物館  
Nagasaki Museum of History and Culture



Nagasaki Museum of History and Culture



**長崎開港450周年記念展～ふたつの開港～**  
4月24日(土)～6月6日(日)

今年は長崎開港450周年という節目の年です。本展では近世期に海外との窓口として重要な役割を果たした長崎での文化交流、その舞台となった都市長崎に注目します。特に長崎にとって大きな転換点となった元龜2年(1571)の開港から安政の開港までを中心に、交流の諸相や長崎港・町の変化を見ていくことにより、「ふたつ」の開港がもたらしたものを再考していきます。



川原慶賀筆〈長崎港図〉当館蔵

**MINIATURE LIFE展2**  
**田中達也 見立ての世界**  
7月17日(土)～8月31日(火)

国内外で130万人以上が来場し世界で人気を集めた「MINIATURE LIFE展」が、パワーアップして長崎に帰ってきます。本展では、約170点の写真作品とミニチュア立体作品を展示。長崎でしか見ることのできない作品も登場します。私たちが笑顔にしてくれる、「田中達也の見立ての世界」を是非、ご体感ください。



主催 NBC長崎放送

お菓子な虹 2019年©Tatsuya Tanaka

**博覧会の世紀1851-1970**  
—日本人を魅了した世界の祭典—  
10月2日(土)～11月28日(日)



三代歌川広重〈内国勸業博覧会美術館之図〉当館蔵

19世紀半ば、世界で最初の博覧会であるロンドン万国博覧会が開かれて以降、今日にいたるまで世界各国で多くの博覧会が開かれてきました。江戸時代から見世物の文化が根付いていた日本で、博覧会はどのように受け入れられ、発展していったのか。本展覧会では、江戸時代の見世物から明治・大正・昭和の博覧会について、長崎で開催された博覧会も交えながら、その歴史を振り返ります。

**入場フリーデー**

対象者は常設展示室の入場料が無料になります。

5月5日(水・祝) こどもの日

対象:県内在住者

5月18日(火) 国際博物館の日

対象:県内在住者

11月3日(水・祝) 開館記念日

対象:県内在住者

2022年

1月1日(土・祝)～3日(月) 着物フリーデー

対象:着物で来館された方

1月10日(月・祝) 成人の日フリーデー

対象:新成人の方

※入場の際は年齢等を証明するものをご提示ください。

企画展

(3階企画展示室)

長崎開港450周年記念展～ふたつの開港～

MINIATURE LIFE展2 田中達也 見立ての世界

博覧会の世紀1851-1970

2021

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2022 1月

2月

3月

休館日

4/19(月)

5/17(月)

6/21(月)

7/20(火)

8/16(月)

9/21(火)

10/18(月)

11/15(月)

12/20(月)

1/17(月)

2/21(月)

3/22(火)

特集展示

(2階常設展示室) 歴史文化展示ゾーン

長崎奉行所展(～5/16)

高島秋帆展

青貝の煌めき

くんち三八七年展

世界遺産登録3周年記念展

生誕200年 岡田篁所展

「青方文書」の世界 その3

新設展 風俗(仮)

高島秋帆展

5月19日(水)～7月19日(月)

長崎の町年寄の家に生まれた高島秋帆(1798～1866)は、日本における西洋流砲術の祖として活躍した人物で、幕末には幕府にも重用され、軍備の近代化に尽力しました。本展では砲術家としてだけでなく、能書家としての秋帆の足跡と功績をご紹介します。



〈高島秋帆徳丸ヶ原演習図〉当館蔵

青貝の煌めき

7月22日(木・祝)～8月29日(日)

江戸時代後期に長崎で生産された漆器である青貝細工。当館の収蔵品の中には絢爛豪華な作品だけでなく、日本の風景や山水を象った落ち着いた色味の作品群があります。「青貝」の名にふさわしい、涼やかな青い煌めきにご注目ください。



〈伏彩色螺鈿家屋風景図丸盆〉当館蔵

くんち三八七年展

9月1日(水)～10月17日(日)

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため奉納踊と御神幸が中止となった秋の大祭・長崎くんち。387年を迎える今年は昨年繰り延べになった踊町ゆかりの資料や演し物にちなんだ資料を展示、ご紹介いたします。



中山文孝〈万屋町鯨引図絵馬〉当館蔵

「長崎と天草地方の潜伏キリタン関連遺産」  
世界遺産登録3周年記念展

10月20日(水)～11月14日(日)

“世界”が長崎のキリタンをどう見ていたのか、当時の布教と貿易の様子を映し出す世界地図等から読み解いていきます。あわせてキリタン信仰用具も展示します。



お掛け絵〈セビアの聖母〉  
平戸市生月町博物館・島の館蔵(予定)

生誕200年 岡田篁所展

11月17日(水)～1月16日(日)

長崎生まれの岡田篁所は、医学や儒学を修め、詩書画も得意としました。明治5年には上海へ渡り、現地で中国人画家達と親しく交流しています。本展では今年生誕200年を迎える岡田篁所の事蹟を辿り、幕末明治期の長崎の文人文化と、彼らが担った知られざる国際交流について紹介します。



〈村山梅芝翁筆甲記念画帖〉当館蔵

「青方文書」の世界 その3

1月19日(水)～3月21日(月・祝)

当館収蔵の「青方文書」を展示する第3弾です。「青方文書」に収められているのは、青方氏に宛てた文書だけではなく、今回は青方氏以外の人々に宛てて出された、意外な文書をご紹介します。



〈豊臣秀吉朱印状〉(部分) 当館蔵